

# オランダ留学帰国報告書

大橋 歩実

私は2年生の夏から3年生の夏までの1年間、国際ロータリーというスポンサークラブを通してオランダへ交換留学をしていました。現地では、たくさんのロータリーの方々やホストファミリーの厚いサポートがあり、1人でも心配なことは全くありませんでした。

たくさんのオランダの文化に触れるため、ホームステイ先は1軒ではなく、4ヵ月ごとに変更され、合計3つのホストファミリーにお世話になりました。ホストファミリーとの生活は文化も違い、戸惑うこともたくさんありましたが、疑問に思うことは何でも質問し、オランダと日本の文化について教え合いました。



この写真は3軒目の父、母、兄、弟、妹と撮影しました。写真には写っていませんがこの家族にはもう1人18歳の男の子がいて、私のようにロータリーから、アメリカへ交換留学をしていました。私はどのホストファミリーも大好きでしたが、このファミリーとは特に仲が良く、みんなで遊園地へ遊びに行ったり日本料理レストランに連れて行ってもらったり、たくさん楽しいことをしました。

それから私は毎日、オランダの学生たちと現地の学校と一緒に通っていました。Martinuscollegeという、全校生徒2000人以上の大きな高校でした。同年代のクラスメイトとは登校初日からすぐに仲良くなることができ、毎日学校に行くのが楽しみでした。週末は学校の友達とショッピングに行ったり、パーティーをしたりして過ごしました。



この写真は私の誕生日パーティーの時の写真で、20人以上の友達が家に来て祝ってくれました。たくさんのプレゼントと、合計で2.6kgにもなるチョコレートをもらいました。



ホストファミリーからはこんなに大きくて可愛いケーキと、数えきれないほどのプレゼントをいただきました。



ロータリーでは、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、ブラジル、チリ、アルゼンチン、メキシコ、台湾、他にも様々な国から35人の留学生がオランダへ来ていました。みんなでおランダ語を勉強する合宿やオランダ内への旅行など、たくさんのプログラムがありました。そこではオランダの文化だけでなく、たくさんの国の文化や習慣を知ることができました。

1番大きかった旅行がヨーロッパツアーで、ドイツのベルリン、チェコのプラハ、オーストリアのウィーン、イタリアでは2つのビーチ、ヴェネチア、ローマ、バチカン市国、スイスのルツェルン、フランスのパリを訪れました。2週間みんなと過ごす中で、絆はとても深まりました。帰国直前にみんなで行ったお別れパーティーでは全員が涙し、別れを悲しみました。世界中にできた友達の国へ旅行して周るのが私の夢となりました。

この1年間は、小さな世界にいた私を大きく変えてくれました。今では何事にも積極的に取り組み、広い視野で物事を見て考えることができるようになりました。日本では親や先生に頼っていてばかりだったことも、現地では自立して行うことを学び、大きく成長できたように思います。いつも支えてくれている家族や友達がいることに感謝して、これからも頑張っていこうと思います。

